

平仲物語
冷泉為相卿筆

靜嘉堂文庫藏本
目加田さくを註

平仲物語
癸卯年
為相卿筆

昭和三十二年四月二十五日

印 刷
初刷發行

平 仲 物 語

価 三 百 円

原 本 収 藏 静 嘉 堂 文
複 制 整 版 武 藏 信
編 版 者 者 加 田 知 さ く
監 修 版 山 を 夫 庫

發 行 所

合名會社

武

藏

野

書

院

東京都千代田区神田錦町三ノ十一
電話 東京六七八九番
振替 東京四五六七番
六四二九番

不許複製

はじへり男二人 はじへ
たてすしもいたら たてすしも
ほつて、ほつて、ほつて、ほつて、
さういふ門からひりそむくは、
はやくちがへよとのは、
かくまくにまつたるまわせ、
かくまくにまつたるまわせ、
あれ、あれ、あれ、あれ、
わびすめたる、三へどアツムウケ
のまんじゆく、のまんじゆく

まへるふくわく新かなづかす
きよにけりたまひにんりりうむか
それれのとくに（す）ましれり
はがたてたまて（す）ましれり
わふつゆくれくふ
さまくはがとまわり（す）まし
にまぐらめかゆのじてくまむ
じてつがゆかうもいきにま
せたまく（す）ましれり
伊シタマラタモニレガム
アミタシタモタリモレタカ

うさ草へミハリがたえなむ
人さうの川へゆきのまよく
シモムカアシマカシムヒサシモアレ
一ニタカヘ
をくれりまつりにかく
河内にありまつりにかく
かくてまつりにかく
まつまつにアカガヤモミケル
すとく人のみわらふ事はわづく
だよしよはたせばくちがく
扇ひつてよしよはくちがく

乃の事、其の如きは、
うやうやしく、かねてから、いふ
に、いふべし、うやうやしく、
かのうかのう、うやうやしく、
人の事だよ。

まことに、御、おまつが、かのうかのう
事は、かわらなむへれど、
じあざけり。また、かのうかのう
が、かのうかのう、うやうやしく、
うやうやしく、かのうかのう、
に、かのうかのう、かのうかのう、

ニモトヤウリツミルズケシキモト
（ち）男也

其の内に、おまかせの事は、
三つとも、わざわざ、おこなひ

「おまえの心がわからぬやうだ
おまえはひいてるやうだ金利が
かうやうにやがてれとあらわ
いたずらわれはせん」

おひるは、この間かわくまあ
かいたつた。見てからしむ。

うへに又ソヘアリ事たれを
シテシテ伊豆守山川原山
て立だや

おもむくの、つむぎの、
我、ひくと、又、そ、た、

ご、お、事、れ、使、か、そ、い、行、け、つ、ま、
可、そ、く、(、そ、く、)

され、ひ、り、さ、れ、御、か、く、と、
我、そ、う、さ、て、が、れ、れ、

さ、あ、小、大、く、き、く、ら、
わ、ふ、か、さ、の、御、か、の、シ、は、く、な、れ

